

信州ソロソリンク記

野峰三信春

イコース

茅野 7:00 ↓ 25km
↓ 11:30
茅草峠 ↓ 30km
セーオスライ
しし 4:10
YH
(五割白馬)

1550 YH 8:30
↓ 20km
1800 車山 ↓ 10:10
↓ 15km
1500 紅田峠 ↓ 15km
890 上和田 ↓ 11:45
↓ 15km
1960 美ヶ原
山本小屋

山本小屋に停滞前線をはる。

1960 美ヶ原 7:30
↓ 35km
570 松本 ↓ 11:30
↓ 35km
1090 前川渡 ↓ 2:20
↓ 10km
1540 東鞍馬原 YH
3:55

1590 YH 7:55
↓ 15km
1540 YH 4:25
↓ 松本 6:35
580 松本
2220 冷泉小屋 ↓ 9km
↓ 10:05
2920 原山荘 ↓ 5km
↓ 11:15
2740 塩平 ↓ 2:15

全走行距離 330 km

道は緩やかだが、早くを登りである。自動車はほとんど通さず、南へるのは小川のせせこせさけ。汗はもよろふ秋晴れの下、360度の展望が広が。何を素晴らしい眺めだろう。正面には八ヶ岳が雄大に聳え立ち、茅草峠の存在を示す鞍部も見える。振り返れば右後方に南アルプス、その右に中央アルプス、北アルプス、土山、白馬連峰が連なり、左方には霧ヶ峰、蓼科山を眺む。この大白然のパノラマの中、試験中の心づう、積んどこかへ聚んでい、てしまった。何て素晴らしいのだらう。そして僕は何でドジなのだらう。今日は限てカメラを持ち、それをか、たうだ。つとして僕が小島さんかこ高橋にされたうだ。茅草峠へは茅野駅を出ると登り only であり、雪囲壁としては柳沢峠への登りと似ているが、展望の素晴らしさ

は段違ハに麦草峠の方がよい。茅野の町並も
 外れると、店はおるか水を補給する所が一ヶ
 所もない、峠にある麦草峠では水は有料であ
 りか注意。途中、尖角石器遺跡に突進する
 大昔、噴煙を上げるハク岳の山麓に一狩猟
 民族が歩き回っていらたうらうら。



〈尖角石器時代住居〉

内部は、30cm住居のT型
 である。

峠かより下りた、アルプス連峰に頭かす底
 が込むような爽快なダウンヒル。だが途中か
 りピーナスライオンへ近道しようとして、地図
 上ない別荘地帯に迷い込み苦労した。

峠は朝かす曇り、車山では霧を巻かれた。如何し
 ていれ霧ヶ峰湿原はもう季節はぶれ、花一つ散り
 ていまい枯野原である。た、ピーナスライオンを終走
 の和田峠かすRH2を上和田まで標高差500mをビョンビ
 ーン登りして下りた。上和田は水がたはたはたの
 村落である、そこが美ヶ原山本小屋まで県道
 になつていり、美ヶ原合まで70km位は舗装であ
 りた。30x24cmの石で登りた程キツく感じた
 平均で70cmの勾配。砂利に入ると勾配は緩くなる。
 たか、空がうらもはま出しそうなる気配である。道
 の側では、何かががサッがサッと言えまていり、
 と、突然野ウサギが飛び出してきて道端の草に
 隠れた。「オオイ！ そんな所に隠れても無駄だよ
 。君は、僕が多夜のおかずにまさんだかす、レ、
 「呼吸が甘てみまが観念して出てくる気配はまが、

だ。美ヶ原をついたときは、ガスの中で何も
 一見えず、山本小屋を探し出して終つた。経
 10雨か降、てきた。

10%は、屋邊まで雨でかぬもすつかりと従
 業員のY氏とダバ、ていた。雨が上がると

さ、そうと高原ポタリング。高原は全体が
 い台地状の牧場を為しているが、柵がしてあ
 りて雰囲気は良くない。夕方には晴れ上が

て、きれいな夕焼け。シルエクトウアルプス
 が美しい。興奮も醒めぬまま小屋に戻ると、
 何とジンヤスカーン鍋が僕を待、ていた。ここ

では連泊者には豪華版も出さうとあり、連
 泊者は僕一人、男は僕一人、料理は二人分。
 僕を取り巻く冷たい視線はあかえして全部

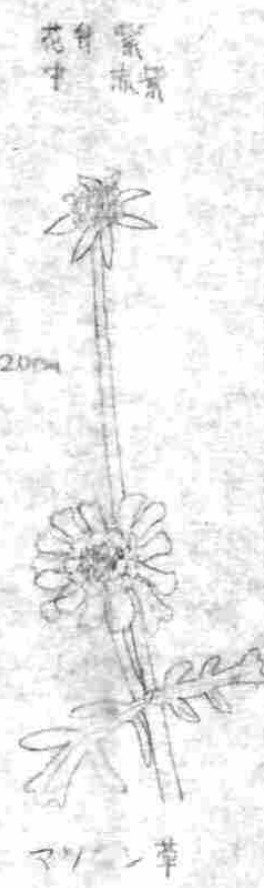
平らげようです。夜、外に出てみれば、空は

満天の星。アムドリメタ大星雲が肉眼で見えそ
 が印象的だ。

10%の朝は晴れ。丘に登れば空行く雲が何と怪
 しいが、フツと足元を見れば、マツムシ草が一輪

だけ咲き、側の岩の上では百鬼が日向ぼ、こ、何
 ともうじかである。王ヶ場を越えて駐車場の方へ

降りて行くと、そこは人ぞうけ。もう今朝までの
 静けさはない。早々に美ヶ原林道を松本に下り



松本かすは、梓川の清流を流れる沿、乙前川渡
 まひ登、ていく。僕はその途中の川と劇的な出

会いをしたのだ。僕は一人ラバクバカーを
 追い抜さ、少し先で止ま、て休んでいた。そして

彼が追いつくとき、僕にぶつかって、たが、それ
が何ぞだ、と。その時は誰がかわるはずが、ま
ま行、としま、とか、ヤレ、と、さして、つと、僕
が、い、と、そして、話をして、い、う、う、同じ、東、エ、大
生、と、分、かり、その、上、彼は、僕、と、独、語、の、ソ、ラ
ス、が、同、い、で、彼、は、い、つ、も、僕、の、左、斜、前、に、居、て
いた、り、だ、と、左、世、間、は、全、く、快、り、と

％は、同、隔、の、ス、ポ、ル、テ、イ、ー、フ、氏、と、い、い、ま、
に乗、鞍、に、登、り、句、配、は、そ、れ、何、と、さ、つ、く、は、な、い
が、大、き、な、岩、が、た、く、さ、ん、埋、ま、り、て、い、て、大、変、走、り
に、く、い、標、高、2000m、も、越、え、る、と、一、面、の、紅、葉、が、
ケ、カ、ン、バ、ナ、ナ、カ、マ、ド、が、美、し、い、ス、ポ、ル、テ、
ー、フ、氏、は、僕、よ、り、5、分、早、く、YH、を、出、発、し、た、の、が、
、位、ヶ、原、山、莊、付、近、で、と、追、い、つ、いた、ス、ポ
ル、テ、イ、ー、フ、氏、は、ぬ、か、り、み、や、う、中、で、見、事、に、転、倒、し

て、いた、上、に、行、く、は、は、て、道、は、増、々、悪、く、な、り、こ、い
く、自、動、車、が、ト、ラ、ン、ス、ミ、ッ、シ、ョ、ン、を、か、り、か、り、ま、ち
せ、な、が、下、で、こ、く、る、寒、い、！、ヤ、ッ、ケ、ま、ど、と、寒、い、こ
く、の、空、の、な、ん、で、初、め、て、だ、登、平、に、つ、い、て、寒、風、に
思、お、ず、小、屋、に、逃、が、込、め、て、と、こ、は、人、で、い、い、ば、り、
乗、鞍、ス、カ、イ、ラ、イ、ン、を、登、り、て、く、親、老、者、は、セ、ー、タ
ー、空、が、目、ま、ま、何、も、思、お、ず、車、を、引、き、返、し、て、い、く、
近、く、を、登、り、て、さ、た、ス、ポ、ル、テ、イ、ー、フ、氏、は、長、袖、シ、ャ、ツ
と、バ、シ、ョ、ー、タ、ウ、出、立、で、震、え、て、い、る、

乗、鞍、岳、へ、は、肩、の、小、屋、ま、で、自、動、車、の、行、た、が、そ、の
先、は、冠、雪、し、て、い、て、も、て、無、理、徒、歩、を、頂、上、を、踏、む
で、の、も、り、が、素、晴、し、し、か、た、